

(件 名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

まず、この場所に建てる必要があるのか。本港区は体育館を建設しなければ、鹿児島のシンボルとして整備、有効活用し、観光客を呼び込み、さらなる鹿児島の経済発展を促せる場所である。プロスポーツで鹿児島を盛り上げようという情熱があるわけでもなく、近視眼的で、将来的な展望が感じられない計画に500億円以上という莫大な県民の税金を使わないで欲しい。20年後には30万人の人口減少が見込まれる鹿児島で、このような規模の体育館が本当に必要か。大地震や桜島大爆発の災害の可能性も高まる中、避難所としても機能しない。

しかも2億円を超える赤字運営の見通しだが、県が公言している経済効果の根拠も、一般市民の金銭感覚からすると全く現実味が感じられない。現在この試算をもとに県議会で議論がなされている事態に違和感しかない。

経済効果の根拠とされる試算をもう一度よく検証の上、我々県民が納得のいく現実味のある試算を示して頂きたい。他候補地より遥かに予算のかかる本港区への新体育館建設を進めるのであれば、希望する協賛企業・団体で募金を集めて建ててはどうか。現在、鹿児島県民は苦しい生活を余儀なくされている。県民の血税は、これからを担う子供達のため大切に使うて頂きたい。水道管や他の施設の老朽化、道路渋滞問題など生活に直結する問題を優先して欲しい。

そして、設計費9億円の計上を簡単に通さないで欲しい。まだ基本計画も容認されていないのに、先に設計費が容認させるということは、決定ということではないか。常識的に考えて9億円を使った後に「やはり見直そう」とはならない。これこそ税金の無駄遣い、県民の税金を何だと思っているのか。

南日本新聞の記事で、「〇〇〇〇委員長が設計費の計上を認めたと読める報告書を提出した」と書いていたが事実であればこれはおかしい。文教観光委員会のお金では無い、9億円というお金は鹿児島県民の血税である。

そもそも、なぜそんなにかかるのか、まず県民に直接説明する場を作って欲しい。「県政かわら版」などで説明したと言うと思うが、幅広い県民から意見を聞くことはしていない。

500億円もの県民の税金を使うのだ。県政が直接県民に説明し県民が県政へ直接意見を言える、議論できる機会を是非作って欲しい。それこそが塩田知事がおっしゃっている「県民のみなさんに理解してもらえる努力をする」と言う事ではないか。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情する。

1. 新体育館事業の白紙撤回を求める。
2. 計画を進めるのであれば、賛否を問う県民投票を実施して下さい。
3. 経済効果の現実味のある試算の再検証と県民への丁寧な説明を求める。
4. 9億円の設計費用を容認する前に県政が、直接県民に説明と意見を聞く場をもうける事を求める。